

平成31年まちづくり懇談会 顛末書

開催日時	平成31年2月12日(火) 16:00～17:17
会場	静内庁舎3階第1会議室
自治会名	未開催自治会
出席者	<p>【町側】 大野町長、本庄副町長、高野教育長、坂総務企画部長、米田住民福祉部長、渡辺健康生活部長、酒井経済部長、木村農林水産部長、木村地域振興部長、上田教育部長、岩淵総務企画部参事監、柴田企画課長、寺田企画課主幹 以上13名</p> <p>【自治会側】 39名(男性29名、女性10名)</p>

《顛末内容》

主 な 内 容	
開 会	司会 柴田企画課長
町長挨拶	大野町長
職員紹介	柴田企画課長
資料説明	<p>渡辺健康生活部長 1. 「脳・脊髄外来のご案内」について</p> <p>坂総務企画部長 2. 「静内庁舎の電話が変わります」</p> <p>柴田企画課長 3. 「婚活事業について」口頭説明</p>
意見交換 自治会員A ・休校について ・JRについて	<p>昨年9月の地震で6日は学校がお休みでしたが、次の日は通電したら登校ということになり、結果的に町内まばらに通電しましたので、お休みの学校とそうでない学校が出てしまったのですが、高静小学校は登校となりました。親として朝送り出すのはすごく心配でした。過保護かと思ったのですが、先生方に聞いても下校時の迎えの車が列になっていた話も聞きました。大きな地震があった場合は、48時間以内にまた大きな地震がくるという恐れが高いので、2、3日は大きな地震に気を付けてくださいと気象庁からの話もありますし、実際熊本地震のときは28時間後に大きな地震が来て、こちらの方が本震だったという話もありました。結果的に何もなかったのが良かったのですが、あのときに通電したら登校という選択以外にお休みにする選択はなかったのかなと思います。どうして通電したら登校ということになったのか、親としては子どもの安全が第一で、他に事情があったのかお伺いしたいのことも、また同じようなことがあった場合に、特に登下校時は子どもだけになる時間なので、親としても心配</p>

	<p>で、48時間はお休みするという事はお願いできないのだろうかと思っております。</p> <p>次に、JR日高線のバス転換について教えていただきたいのですが、バス運転手の高齢化と減少が深刻であるということです。道の交通企画課の平成28年の資料によりますと、道内の大型2種免許保持者の4割が65歳以上で、50歳以上になりますと約8割になります。若い運転手さんが2割しかいないということです。全体として減少傾向にあり、数年経過していますので緩やかに進行していると思われまます。知り合いの元運転手に聞くと日高管内は特にいない。募集してもこないという話を聞きます。道南バスの例で言いますと、ペガサス号も減便になっています。バス停もなくなったりしています。空港バスも苫小牧市内ルートがカットされたり、今年になって苫小牧市内の市内便が39便減便になったというニュースもありました。増えている所もあるようですが、全体的には減便になっています。JR日高線の情報もSNSで発信しておりますが、著名な交通評論家の方からコメントをいただきましたところ、バス転換にすると採算性よりも運転手不足で路線が消滅しますとコメントをいただきました。このような状況を鑑みますとバス転換しても持続可能なのかという心配になります。JRも国もお金を出さないことも現実ですが、運転手の高齢化と減少が非常に深刻であるという問題も現実です。町長会議で出ていると思いますが、どういう議論がなされているのか、町民には全く情報が届かないものですから教えていただけると幸いです。</p>
上田教育部長	<p>地震の対応について、停電が全町的に起こりまして、学校との連絡もつきにくい状況でした。町内でも通電の時間がばらばらであり、授業を実施するかどうかは学校の判断になりますが、スクールバス、給食などのこともありますので総合的に判断させていただきました。もちろん気象状況も情報を集めながら対応したところですが、いただきましたご意見を十分考慮しながら今後対応させていただきたいと思っております。</p> <p>また、町広報でも既に載せておりますが、このような事案が発生したため、教育機関特化型連絡網というシステムを導入し、教育委員会や学校から各家庭にメール、ライン、ウェブなどで連絡できる仕組みを用いて3学期から運用しております。登録していただければ保護者に一斉メールを送信することができ、緊急情報だけでなく、学校としていろいろな情報を保護者に送れるようになりました。少しでも早く連絡が図られる体制を構築したところでございます。災害はその状況により対応が変わりますが、ご意見を十分考慮させていただき、学校とも協議して対応していきますので、ご理解いただきたいと思います。</p>
自治会員A	なぜ、お休みという選択肢がなかったのか伺いたい。
高野教育長	<p>休みという選択肢がなかったわけではありません。再開した学校と休校した学校が出たのは通電の関係もありますが、通電だけで学校を再開して良いということではなく、通学路の安全確保を最優先で確認して問題なければ再開するという事で学校に対して指示を出しています。道路状況については、信号が復帰すれば交通面でも問題ないだろうという判断でした。通電だけが問題ではなく、通学路の安全確保を学校が最大限情報収集し、校舎も点検して安全であることを確認したうえで学校を再開してくださいという形をとりました。私は、町が一斉に通電されるものと思っていました。決して子どもの安全を軽視したわけではありませんので、そこのご理解いた</p>

	<p>だきたい。</p> <p>また、地震で通信手段が混乱していましたので、教育委員会独自で苫小牧市において既に導入されている通信システムを導入しまして、新たな連絡体制を構築しました。町の公式ホームページにも緊急事態の場合には、教育委員会の情報を直ぐにアップロードして、そこにアクセスして情報を得るという方法と両方で提供する形で情報が行き渡るように対策を講じておりますので、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>部長からお話ししたように、今回のようなことが起こり得るわけですから、今後のこととして安全が確認できてもどうなるかわからないという不安要素があるときは、学校を休校にするなど対応していきたいと思います。</p> <p>もう一つは、長期の休みをとってしまうと子どもたちが学ぶ時間がなくなってしまって、子どもたちが不利益になるものですから、そこは非常に難しいところでもあるので、その点もご理解いただきたいと思います。</p>
自治会員A	<p>48 時間以内の余震の予想は判断の中には入っていたのでしょうか。</p>
高野教育長	<p>地震の起きた場所とこの町との地理的な関係、震度、町内のインフラ、道路、建物の被害状況などを把握した中で、私も午前 3 時半には役所に出て情報収集を図り、その日はずっと事務所に詰めて情報収集を図って被害の状況を把握したうえで判断させていただいております。子どもたちの通学路や校舎に大きな被害の情報が出なかったものですから、そういう対応を取らせてもらっています。48 時間ということは今後考慮していきますので、その点ご理解ください。</p>
岩渕総務企画部 参事監	<p>J Rについては毎月のように会議を開きながら協議させていただいております。昨年末三つの選択肢を二つに絞り、日高線の全線復旧を諦めてさらに絞りながら日高線を考えて話を進めましょうということになったのですが、それを持ち帰り各町議会で町長会議の考え方についてご意見を伺う時間を取りました。その中で浦河町から出てきた意見では、全線復旧を残しておきたい。休線という状態でも良いという話が出て町長会議が停滞しているところです。今後、日高線を全線廃止するか、富川から日高門別間は鉄道でその先を廃止するか、残っている選択肢の中で、新冠町から様似町までは車が通らないことが両方に入っています。そこで、決定事項ではないのですが、バス転換した場合を考えなければならないですし、そのことを考慮しながら今後の地域の交通を考えなければならないと考えております。</p> <p>今のご意見のように、北海道だけではなく全国的に大型 2 種の免許取得者につきましては減りながら高齢化が進んでいます。バスの増便や新しい路線の開拓などには影響が出ると思います。苫小牧市の方での大きな減便は営業所の方針で、運転手が不足したということも一つの原因かもしれませんが、恐らく乗降者が少ないですとか、道順を採算性に合うような経路に見直しましょうということで減便になったということも聞いております。今後、日高地域におきましても、当然これから新しい路線を考えなければならないとなれば、道南バス、J R北海道バスなどの協力を得ながらこの地域にあるべき姿で皆さまが利用しやすい公共交通にならなければならないと思っております。ただし、この地域だけが運転手が少ない、バスの本数が少ないというわけではございません。この町だけで考えることではないものと思っております。これからは</p>

	<p>J R北海道、北海道、国、みんなでこの地域、北海道の公共交通をこれから10年、20年先まで継続して維持できるものになるような働きかけは必要だと思っております。現在は町長会議で協議中でございます。はっきりした決断は出ておりませんが、そういった準備は必要だと思っております。</p>
自治会員A	<p>町長会議では、私が申し上げた論点では議論されていないという理解でよろしいですか。</p>
大野町長	<p>詳しいことは、これからです。</p>
自治会員A	<p>バス転換の内容が議論される前にバス転換を決定したという理解でよろしいですか。</p>
岩淵総務企画部 参事監	<p>手法としてはバスがあるなしではなく、これから残すべきかどうかのJ R日高線について、全線復旧することが数年間で可能なかどうか、可能であれば地域の負担はどうするか、他にもいろいろと分析することが出てくると思います。それらを加味しながら考えた場合、鉄道を諦めて壊れた部分の鉄路については国道などを使ったバス転換の方が早く安くできるのではないかとこの考えのもとに進めているところです。</p>
自治会員A	<p>実際にバス13本に増えますとか、そのときになって運転手がいなかったということになるのではと懸念しているのですが、情報があまり出てこないことが残念です。町長会議を公開していただきたい。無理であれば町民のところまで届いてこないものですから、町民に情報が届くようにしていただければと思います。住民説明会のようなものを設定していただければ大変ありがたいと思います。</p>
自治会員B ・MR I・ATM の導入について	<p>町立病院にはMR Iがありません。MR Iを撮るには日高德洲会病院まで行かなければならない。早急に導入していただきたいと思いますがいかがでしょうか。 また、町立病院の中にATMの設置はできないのでしょうか。</p>
渡辺健康生活部長	<p>静内病院にはMR Iは整備されておられません。64列という非常に優れたCT、大学病院と同等のCTが整備されております。脳脊髄外来に受診されてドクターが脳のMR Iを取りましようということになれば、日高德洲会病院と提携を結んでいます。徳洲会病院のMR Iを予約してその画像を北大の専門医が読影する仕組みをとらせていただいております。MR Iを導入するには数億円かかります。人口規模からいって、既に民間の病院で昨年最新のMR Iに取り換えたばかりで、果たして大金を投じてMR Iが2台必要なのかという議論があります。社会資源をうまく利用して、今やっているようなことで徳洲会病院のMR Iを利用させていただくということでございます。</p> <p>ATMの件ですが、初めて要望をいただきましたので可能かどうかについて、金融機関と協議させていただきます。</p>
自治会員B	<p>町立病院の整形外科にかかっているのですが、MR Iがないため徳洲会病院に行く</p>

<p>渡辺健康生活部長</p>	<p>と予約をとらなければならない。予約で受診しても結果は次回の診察時になってしまう。そうすると不安になります。町内の脳神経内科との提携はできないのでしょうか。</p> <p>現在、提携を結んでいるのは徳洲会病院だけになっています。一つの協定では不便を感じていらっしゃるようなので、現場に帰って他の患者さんの状況がどうなのか分析しまして、そのうえで足りないということであればお声掛けし、協定が結べるかどうか確認したいと思います。</p>
<p>自治会員C ・虐待について</p>	<p>毎日のようにテレビ、新聞などで虐待ということが騒がれております。この間もわずか10歳の子の命が亡くなりました。何とか助けることができたのではないかと思います。もっと対策があったのではないかと。調べたら児童相談所にも落ち度があった。教育委員会にも落ち度があった。学校側にも落ち度があった。これから未来に向かって夢や希望を持ち生きて行かなければならない子どもを大人の手で命を奪ってしまう。宣伝させていただきたいのですが、今月16日ピュア2階多目的室で室蘭児童相談所長が講演をするそうです。私は民生児童委員をやっていますので、民生委員の方にもぜひ参加していただき、所長の生の話を聞いてほしいと思います。後援は新ひだか町、新ひだか町教育委員会となっています。恐らく教育委員会の方は全員わかっているかと思います。職員の皆さんもお時間をみて少しでも良いので出席したらどうでしょうか。この間の福祉もそうです、町長さんや教育長さんが来ておりました。子どもが素晴らしい作文を書きました。ぜひ、企画課の方でこの作文を広報に載せてください。お願いします。教育委員会としてどのように考えているのかお聞きしたいと思います。</p>
<p>高野教育長</p>	<p>私も全く同感でありまして、4年生の女の子が亡くなったことに本当に胸が痛みます。どんなに辛かっただろうと。昨日、今日のニュースでは、親が虐待の場面を動画で撮っていたという。どんな親なのだろうという気持ちです。私も同じ気持ちを持ちまして、明日町内の教頭先生の会議があります。その中でこのことに触れます。学校、教育委員会、児童相談所とあの女子児童に関わった大人たちや関係機関がなぜ助けられなかったのか、そのことを問題提起したい。学校の管理職である校長先生、教頭先生に問題意識を持ってもらおうと思ひまして、会議の中でお話をさせていただきます。校長会議、教頭会議を定期的に行っているのですが、その中で子どもの命を守ることを最優先に考えてくださいと話しています。地震の話もありましたが、不審者のことだとかさまざまなことがありますのでお願いをしております。特に、虐待の部分について触れ、例えばアザを作ってきた、何か子どもの様子がおかしい、そういうサインを敏感に感じ取って、必要であれば直ぐに関係機関に連絡を入れる。実際に私も学校におりましたときに経験がございます。直ぐに教育委員会を通じて児童相談所に連絡を入れて保護してもらったということが過去にございました。初期対応が極めて重要なので、そういう意識を持ってもらうように先生方に話していきたいと思ひます。虐待が疑われるケースというのはいろいろとありますので、福祉の方と常に連携して対応しております。もちろん、児童相談所とも連携して対応しておりますので、その点についてはご理解いただきたいと思ひます。これからも子どもの命を守ることを最優先に悲惨な事件が我が町で起きることが絶対ないようにしていきたいと思ひます。</p>

<p>自治会員D ・真沼津川沿い 道路について</p>	<p>真沼津川の拡張工事が始まっているのですが、私は右岸側に住んでいるものです。右岸側の道路につきましては、対面交通で7mの幅を取っていると思います。最近、測量したら4mくらい私の用地に入るようです。3.5mの道路で良いのではないかと思います。道路が縦方向に200mおきに入っていますし、消防車も救急車も入れる。交通量はほとんどない。できれば西4条橋から柏台団地の間だけでも管理道路程度で良いのではないかと思います。この道路は、柏台橋の方には抜けられない道路になっています。その他に元の職業安定所の訓練センターがあります。家を切っても良いのですが、今は平均がとれて下がっていないので、4mも切ると家は傾いてきます。そういうことを考えますと、もし補償となれば全部もらわないとできません。私は立ち退きをしません。道路は7mにしなくても3.5mの道路で良いと思います。その辺を考えていただきたいと思います。補償は北海道になりますから町の腹は痛まないと思うのですが、住んでいる者の身になって考えてほしい。あそこを立ち退きすると私は静内に住めなくなる。むしろ柏台から子どもが歩いて下がってくるため3.5mにした方が良くと思う。交通量を少なくした方が良く。無駄なお金をかける必要はないと思う。今日は答えが出ないと思いますから、後ほどじっくりお話させていただきたいと思います。</p>
<p>酒井経済部長</p>	<p>川が広がるものですから町道を右内側に寄せる工事が一部で発生します。先ほど言われたところもそのような状況になると思われませんが、補償してまで今の道路幅を確保しなくても良いというご意見をいただきましたので、道路幅について協議しながら調整させていただきたいと思います。</p>
<p>自治会員E ・JRについて</p>	<p>JR北海道は運行費を20年分出すと言っているという報道があって、運行費を使いってしまった後の地域公共交通というところまで考えているのかどうか教えていただきたい。利便性の高いバスというイメージで予約しなくても乗れるだとか、全ての便に乗れるだとか列車のときと同じようにできるのかということも確認したい。</p>
<p>岩渕総務企画部 参事監</p>	<p>札沼線は20年、夕張は18年だったと思います。地区によって違いますが、それだけの期間の分のバス転換に係る負担は支援しますとJRから提案を受けていますが、正式には受けていません。その後につきましては、これから考えなければならない地域に必要な公共交通が10年、15年といく間に醸成して、さらに良いものにするための分析をしながら進むと思います。20年後までは、JRがかかる経費は赤字分を含めて面倒を見ますが、その後はバス事業者に対して各町で支払わなければならないとした場合の負担は支援することになると思います。負担がかかるからといって地域公共交通をやめるということはないと思います。JRの列車と同じような利便性を保ってほしいというお話ですが、全ての便に対して自由に乗れることや介助が付くなどということは難しい状況にあります。あらかじめご連絡をいただいて何便に乗りますので介助をお願いしますといったような予約制になると思います。また、今のバスは高いステップのバスになっていますが、4月からは静内・鶴川間は、恐らくバリアフリーのバスに転換するようにJR北海道は代行業者と協議しているはずですが、恐らく全線変わるような協議をしていると思います。</p>

自治会員E	<p>J R北海道の副社長が地域公共交通はなくしませんと明言しておりますので、ぜひJ R北海道には最後まで責任を持ってもらいたいと思います。住んでいる人がいる限り地域公共交通を無くして欲しくないと思います。</p>
自治会員F ・側溝整備について	<p>雨が降ると水はけが悪い。側溝の流れが悪いので整備していただきたい。牧草地があって貯水池のようになり溜まる。溜まると私の家の方に入ってくる。側溝の流れが良いのであれば問題ないのですが、その水が家の下に入ってきて断熱材などが痛むものですから、雨降るごとに心配なので、その辺を見ていただいて対応してほしい。</p>
酒井経済部長	<p>グラウンドの近所の方だと思いますが、古川町地区については、古川の平常の水位が70～80 cmですが、雨が降り120～130 cmになると古川町地区より水面は低いですが、水位が上がるとなかなか吸い込んでいかないのです。掃けないというご指摘はこれまでも受けております。古川の水が直ぐ掃けるように側溝をある程度整備しているのですが、例えば鉄道橋から下流の土砂や草を除去すること、町道の側溝については清掃もしている状況ですが、地形的に古川の水位に対してそれほど高台にあるものではないので、維持管理を適宜やらせていただきたいと思います。</p> <p>また、北海道の河川である古川については、北海道に土砂上げなどの要望をしながら、そのような頻度が少なくなることで維持していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
自治会員F	<p>一度、断熱材を変えまして数十万円かかるものですから、担当の方に現地を見てはつきりしてほしいと願っています。</p>
酒井経済部長	<p>地形的なことはご理解いただいていると思いますが、雨が降ったときに現地へ行って土のうを積むなどの作業をしていますが、目が届かない面もありますので、今後雨が降ったときには現地を見て、又はお声かけいただきたいと思います。</p>
自治会員G ・植樹について	<p>水害の災害は所管が総務課でございますので、厳しいと思うのですが、静内地区は第一次産業で、木材の産地でございますので、第一次産業の材木の方に目を向けてほしいと思います。水害の災害もやはり植木によって防げるような部分もあると思います。昔、学校で苗を植えまして、東静内の山は50年、60年経っていて、海があっても被害がなかったと思ひまして、静内の市街地も木を植えていけば守られるのではないかと思います。</p>
木村農林水産部長	<p>林業の話だと思いますが、国土保全という部分については森林を管理していくのが重要だと思います。森林も長い期間放っておきますとだめになってしまうので、年数が経過すると木を切って、そこに植林をしていく循環型の林業をやっていますので、災害の起きないことを考えながら実施しているということで、ご理解をお願いします。</p>
自治会員H ・排水機場の運行について	<p>最近、雨が集中型になってきまして、古川町の排水機場の今の運行の状況をどのような契約でやっているのか教えていただきたい。</p>

<p>酒井経済部長</p>	<p>古川と静内川との境目に古川排水機場は北海道の施設になります。これにつきましては、古川の水位、体育館の横と排水機場に水位計がありまして、水位で95 cmになったら人が張り付きなさいとなっており、1m5 cm、10 cmになったら回す準備をなさい、10 cm、15 cmになったら回しなさいというマニュアルがあります。運転は町の職員が実施しておりますが、高波の時期になりますと満潮も重なって古川の水位が上がることもありますし、大雨などのときには防災関係で気象予報も出ていますので、職員が事前に張り付いて北海道のマニュアルに基づいて実施しておりますが、集中的に降る場合もあります。ポンプが3台あるのですが、3台を一気に回す、2台回すようなことで水位が古川町に影響が出ないよう運転管理をしております。機械だけで賄えない部分については、土砂上げや草刈りなどを行い、被害が出ないようにしている状況ですのでご理解いただきたいと思います。</p>
<p>自治会員H</p>	<p>北海道から委託を受けたときに初めは2機だった。雨が多いので3機になりました。運転基準の待機は95 cm、運転は1m数cmと、集中型の雨の気象変動というのは変わってきていると思うので、昨年大雨を見ても本町に避難勧告が出ています。あのようなことを見ても、排水機場の運用見直しをしないと別なところで溢れるのではないかと。その辺の改善策は北海道と協議ができるのでしょうか。</p>
<p>酒井経済部長</p>	<p>同様のご意見は伺っております。排水機場自体は、ときわ町にあります治水事務所と協議しながら、運転マニュアルに沿って実施していますが、町の判断で早く回すということを要望させていただいております。その中で職員も水位計を見ながら95 cmに拘らず実施しています。管理者とは柔軟性をもって対応させていただきたいということは協議しております。この施設については、当初2台でしたが、古川を改修したときに1台追加し3台体制になっております。それを4台、5台というのは施設の大きさなども含めてできないということでございますが、被害が出ないよう北海道に要望している状況ですのでご理解いただきたいと思います。</p>
<p>自治会員H</p>	<p>側溝と同じで降ったときに飲み込めない。上流の水位が引いてきたときに下流が運転水位になるという状況ですからいつも溢れる。その辺は臨機応変に対応してほしい。3機になったから効果があると期待していますが、マニュアルが変わらないと溢れましますので、その辺はよろしくお願ひしたいと思います。</p>
<p>自治会員 I ・発電機について</p>	<p>町内会で要望が出ているのが、停電時に発電機を各自治会に1台配給していただきたいという要望です。また停電が確実に起こるような気がします。鵜川で発生した理由が二酸化炭素を地下に埋めることが、地下の地層を破壊しているのではないかと話が出ておりまして、これを続けていくと今後また鵜川で地震が起これば、鵜川の火力発電所のウエイトが非常に高く、原発が止まっている状態ですので、道外からの電気が60万キロワットしか入らない状況です。冬には540万キロワットに対して供給量のほぼ100%に近い状態でいつ電気が切れてもおかしくないという話も聞いております。今回地震で1日停電しましたが、そのときにいろいろな問題が出たと思いますが、停電するとストーブがつかなくなるので、一自治会の要望で申し訳ありませんが、</p>

<p>坂総務企画部長</p>	<p>そのような話が出ましたのでよろしくお願いします。</p> <p>現実的に全自治会に1台ずつ発電機を用意することは現状では無理だと思います。町の方で考えているのは、各地域の主となる施設にLPガスを利用した発電機を年度ごとに設置させて頂いております。役場の施設自体も停電対応をしなければならないのですが、この前は全町的になりましたが、部分的に長くなる停電もあると思いますので、それらの対応も含めて検討している事項もありますけれども、今の時点で各自治会に発電機を配置するまでの対応についてはかなり厳しいので、主となる施設に発電機の整備を継続させていただきたいと思います。</p>
<p>大野町長 (開会挨拶)</p>	<p>皆さま方のお話を聞いて何点かお話ししたいと思います。まず、虐待のお話ですが、正直言いまして、ニュースで流れるとテレビを消してしまいます。新聞を見ているその見出しだけ見たら読みません。それくらい嫌な事態です。教育長もずっと教育者ですので、骨身に染みていると思いますから、関係者が共有しながらそのようなことが起きないようにすることは当たり前のことだと思いますので、私からもきちんとやることで話したいと思います。</p> <p>古川の件は、雨が降ったときに役場の職員を呼んでください。1回きちんと見た中でできるのか、どういう状況なのか、もう一度チャンスをください。排水機場の運行については、言われる通りだと思います。弾力的な現場対応が必要だと思っていますので、その辺については事務所と建設課で打ち合わせしていると聞いておりますので、弾力的な運用ができるようなことで進めていきたいと思っています。</p> <p>道路の幅の話は、個別に北海道の方も含めて協議させていただきたいと思います。</p> <p>最後にJRの問題をお話ししたいと思います。バス転換ということでお話ししていますが、一つの町で数億円というお金を将来に渡ってもっていけるのかという問題を一番重要視しています。バス転換したときに運転手がいるのか不安がある。その不安というのは全国どこでも同じ不安だと私は思っています。その不安があるからといってJRが止まっている状態を是とするのかという決めてそうではないと思っているとは思いますが、運転手がいるのかという不安は確かにありますが、責任を持ってJR側と交渉しながら20年なら20年の間、お金を出してJR側はやりますと言っていますので、担保を取ってやっていくべきだと思いますし、担保を取りたいと思います。この4年間、汽車が動かないという状況をどのように打破するのか、このままでいくとバス転換しなければずっと汽車は動かない。これは確実に言えます。線路が宙ぶらりんになっているところもありますので、そこを直すだけでも2年、3年かかります。橋もだめになっている。JRも海の水があがるのが分かって、そこに線路を残すのかと考えています。事業者であれば違うところを迂回させて残すでしょう。そうなったら5年、10年というスパンになります。ですから私は、気持ちは線路があった方がよいことは誰もが思っていることですが、現実を直視した場合はどちらを選択するのかといった場合には、バス転換しかないだろうと思います。JRを復旧させたときの自分たちの負担を考えると、この町にその体力は無いですし、するつもりもないと考えているところです。きつめにお話ししましたけれども、そのようなことを考えながら町長会議で簡単に言いますと6対1という構図になっていると新聞報道にありますけれども、時間をかけることなく7対0になるように私も努力してまいりた</p>

	いと考えておりますのでご了解いただきたいと思います。貴重なご意見を本当にありがとうございました。
閉 会	17:17 終了